

施工業者様用

〈施工説明書〉

片引き戸・引き違い戸 引き分け戸 専用枠材

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

〔商品相談窓口〕

フリーダイヤル
☎ 0120-813-331

〔受付時間〕平日8:30～17:00

〔休日〕土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

IK(H・L)S(5)-TC

上吊り

〔標準〕片側ソフトクローズ

ピノアース 固定枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

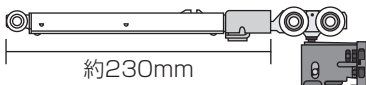
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨

■ 梱包内訳表

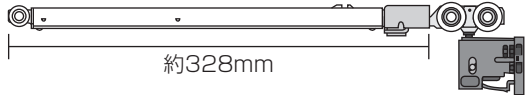
※商品の種類によって、同梱されていて使用しない部材があります。

枠本体セット						
部材名		縦枠 (開口部側)	縦枠 (戸袋側)	中方立 (モヘア付)	鴨居	鴨居 レール (アルミ)
入 数	片引き戸	1本	1本	1本	1本	1本
	引き違い戸	2本	—	—	1本	2本
	引き分け戸	—	2本	2本	1本	1本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—

① ショートストローククローザー本体



② ロングストローククローザー本体



ビスセット(枠本体セットに梱包)						
部材名		袋の色	赤	赤	黄	黄
入 数	片引き戸	ZYQH74-□	2本	6本	10本	1本
	引き違い戸	ZYQH75-□	2本	4本	10本	1本
	引き分け戸	ZYQH76-□	2本	8本	12本	1本
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—

固定枠上吊り鴨居用ビス		
部材名		袋の色
入 数	片引き戸	ZY0202
	引き違い戸	ZY0202
	引き分け戸	ZY0202
備 考 (部材品番等)		—

金具セット(枠本体セットに同

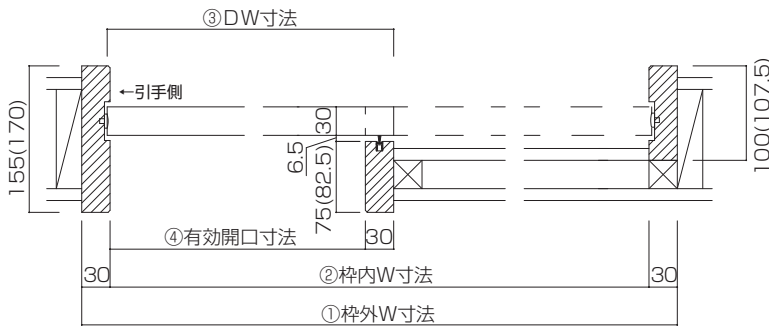
【片引き戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

横断面図

■枠製品寸法と納まり図

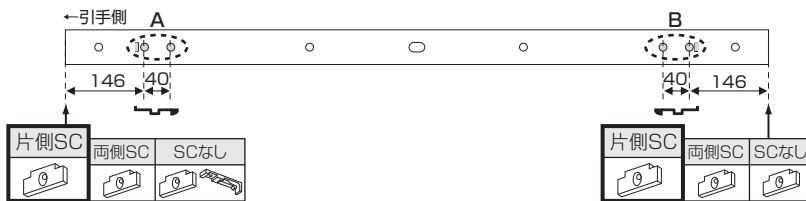
(単位:mm)



■枠製品寸法と納まり図

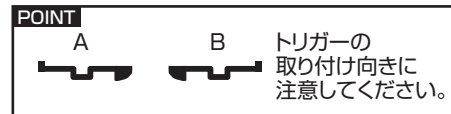
製品寸法	1,644	1,450
①枠外W寸法	1,644	1,450
②枠内W寸法	1,584	1,390
③DW寸法	810	713
④有効開口寸法	777	680

■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

片側ソフトクローズ仕様	A
両側ソフトクローズ仕様	A・B

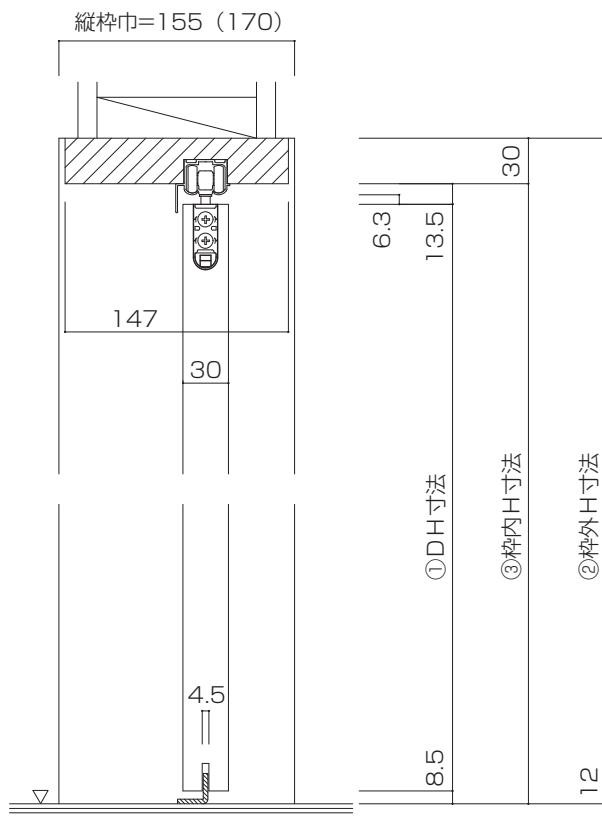


※SC…「ソフトクローズ」の略称です。



縦断面図

(単位:mm)

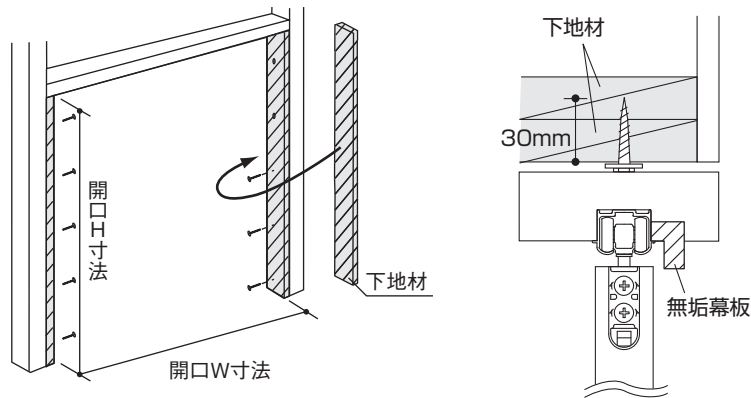


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



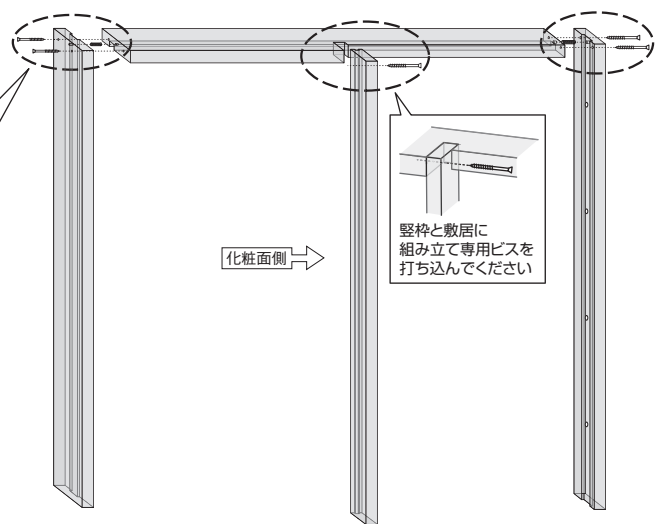
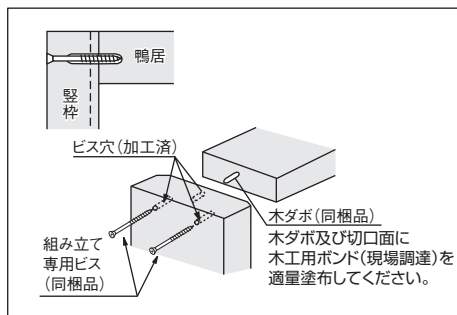
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

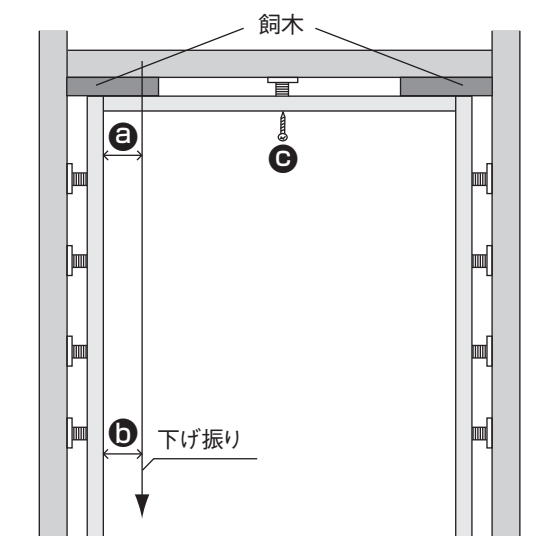


4 建て付け調整と鴨居の本固定

■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

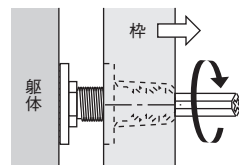
① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。



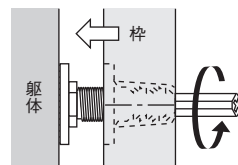
枠を内側に寄せる場合

時計回り(右回り)で調整

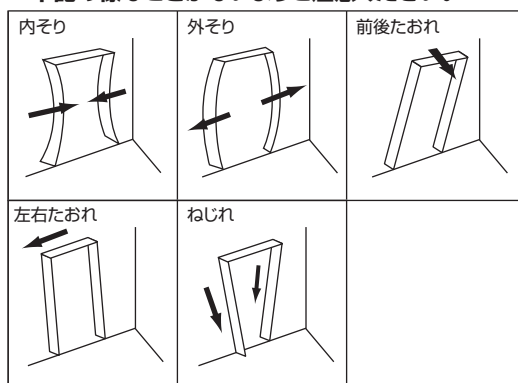


枠を外側に出す場合

反時計回り(左回り)で調整

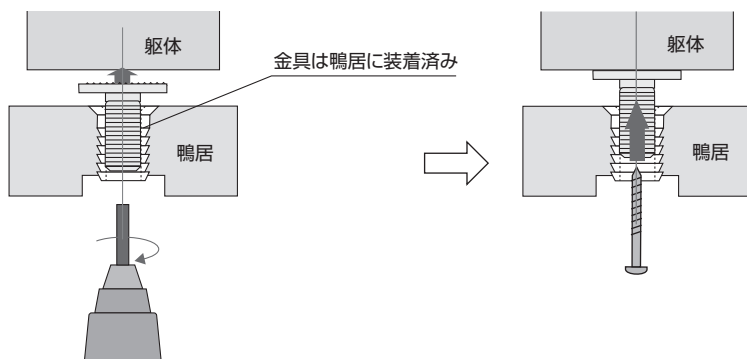


※下記の様なことがないようにご注意ください。



② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

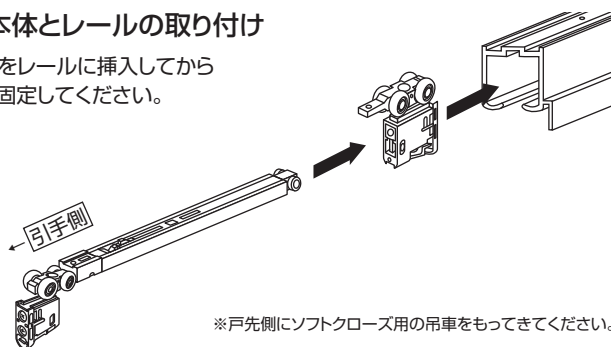
縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



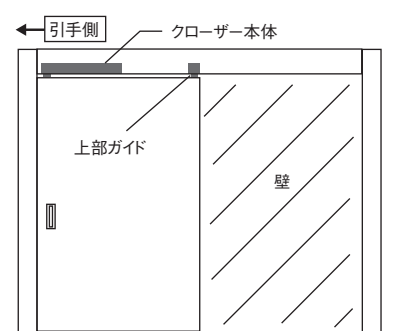
③ 縦枠を調整後、ビス穴に

①クローザー本体とレールの取り付け

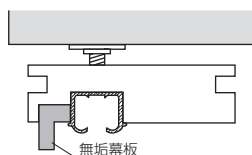
クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。



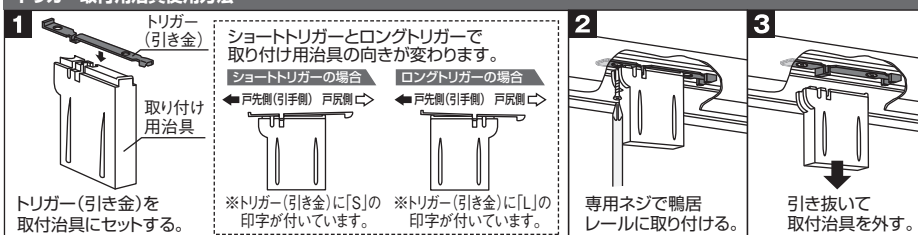
※戸先側にソフトクローズ用の吊車をもってきてください。



②鴨居レールの取り付け



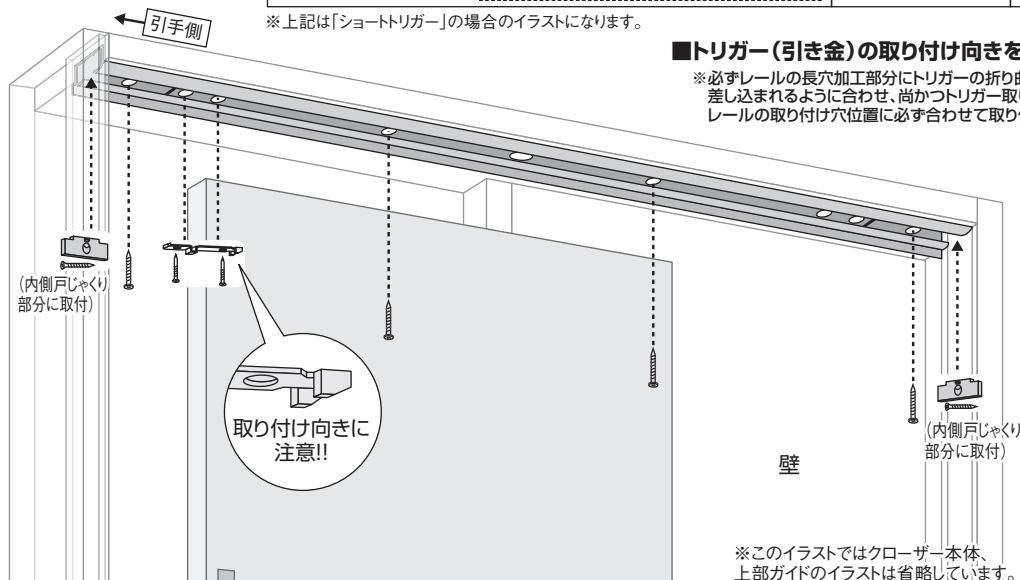
トリガー取付用治具使用方法



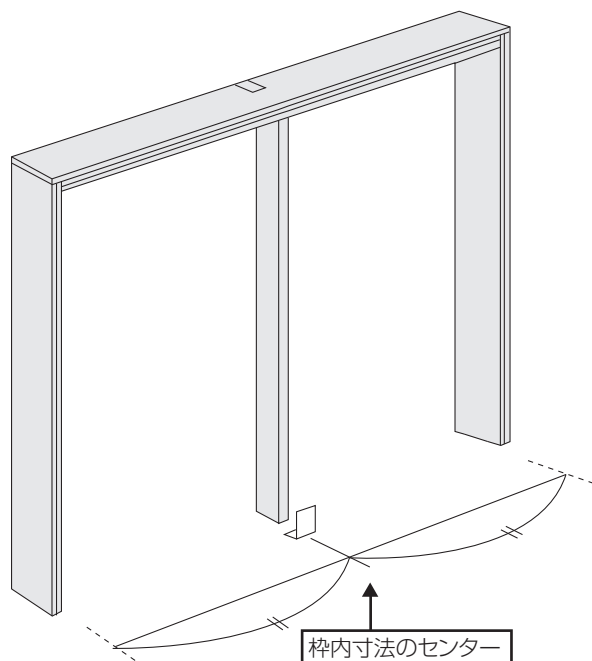
※上記は「ショートトリガー」の場合のイラストになります。

■トリガー(引金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が
差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所を
レールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



6 振れ止め金具の取り付け

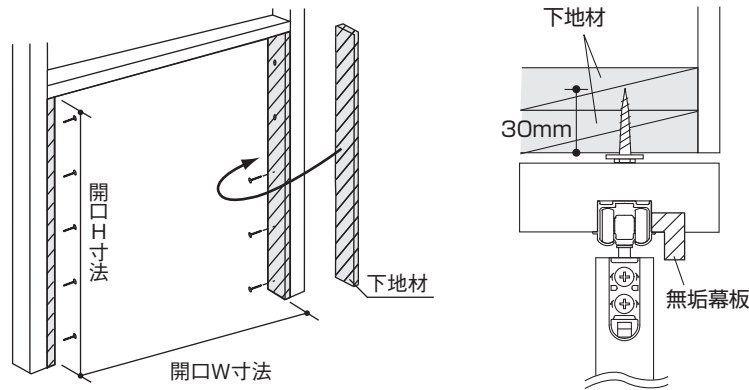


施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



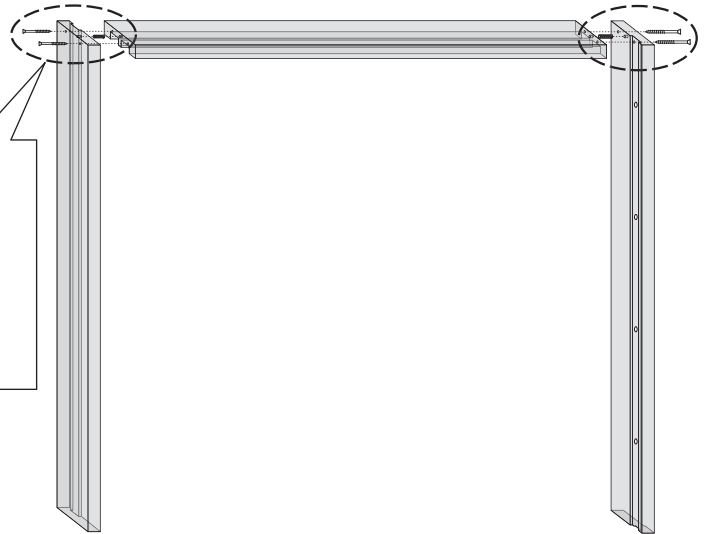
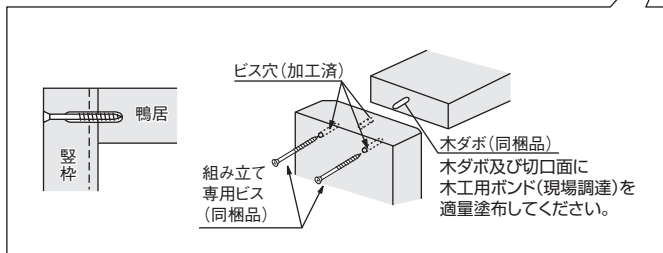
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

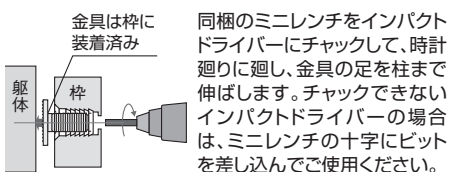
4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

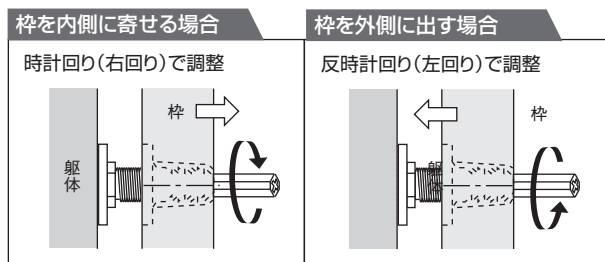
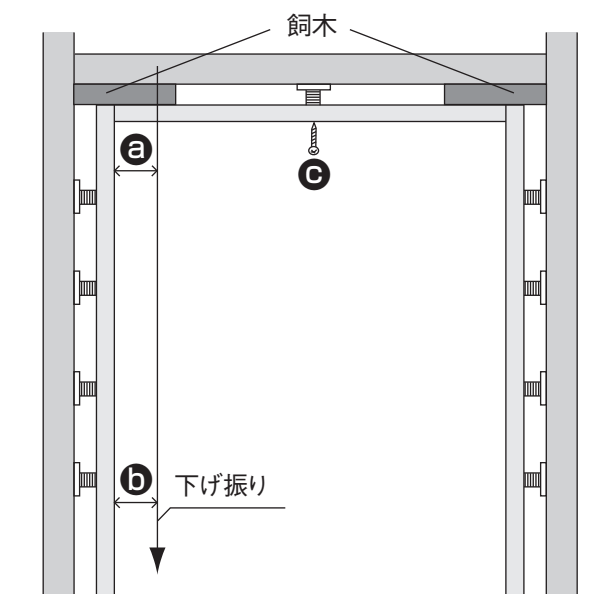


4 建て付け調整と鴨居の本固定

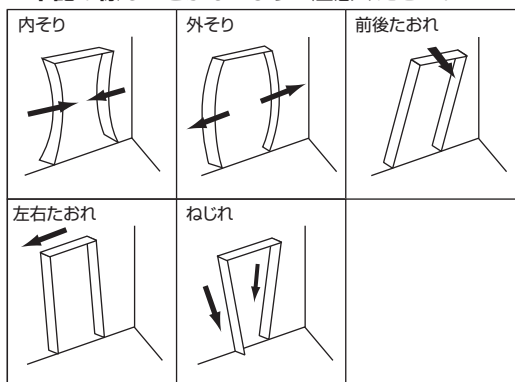
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。

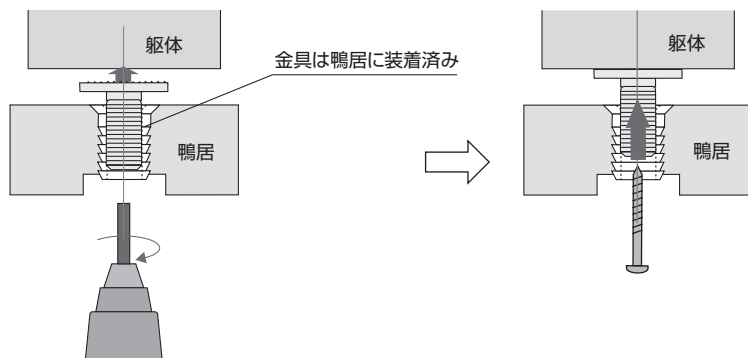


※ 下記の様なことがないようにご注意ください。



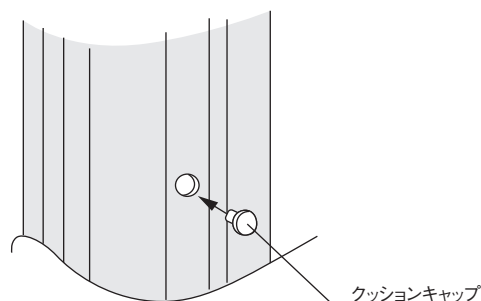
② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



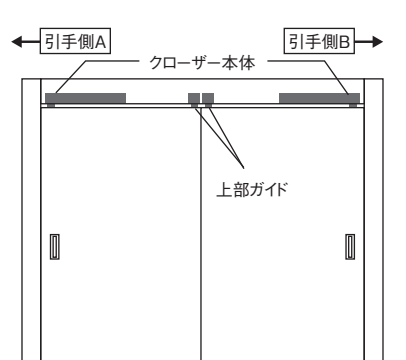
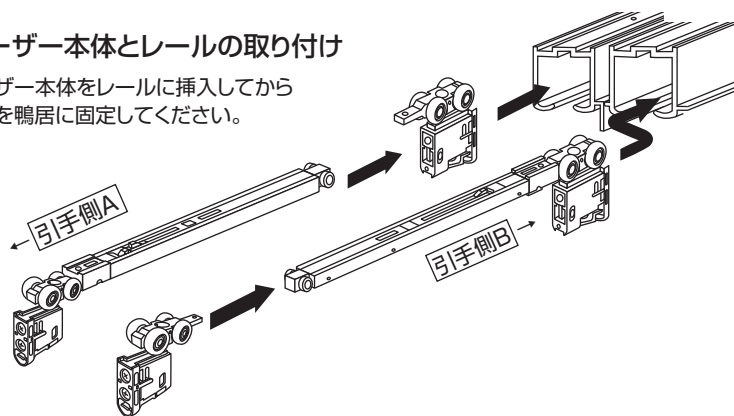
③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。



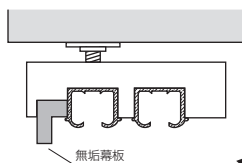
① クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してから
レールを鴨居に固定してください。

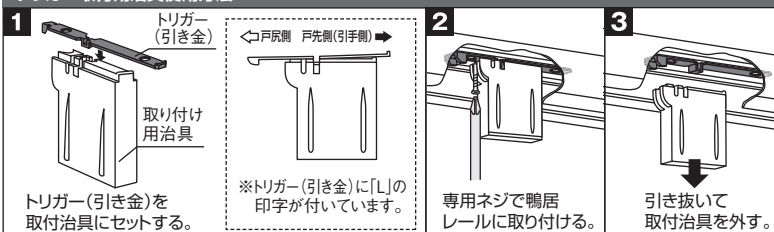


② 幕板と鴨居レールの取り付け

鴨居レール(アルミレール)に幕板は取り付けません。
別途無垢幕板を木工用ボンド(現場調達)とフィニッシュ
ネールを併用で鴨居に取り付けてください。
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて現場カットになります。

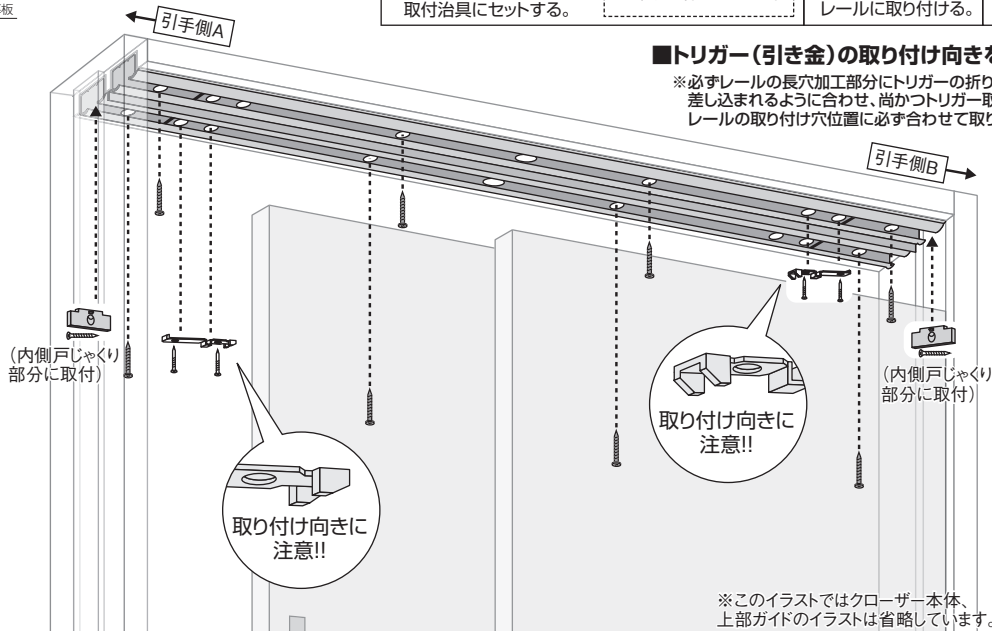


トリガー取付用治具使用方法



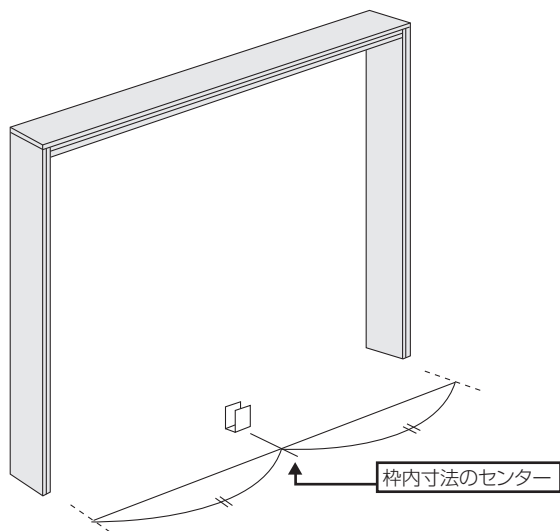
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が
差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所を
レールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



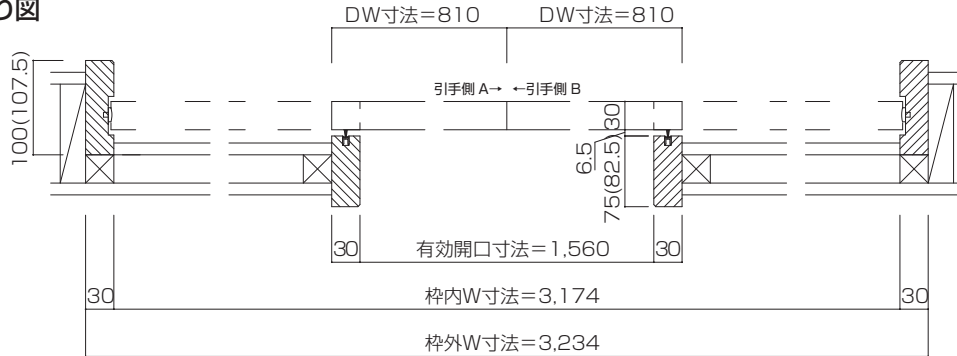
【引き分け戸】納まり図

枠本体に躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
下記レール詳細図を確認し、トリガー、ストッパーなどの取り付け位置をご確認ください。

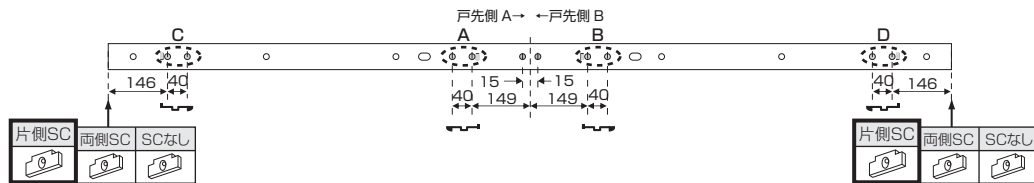
横断面図

■枠製品寸法と納まり図

(単位:mm)

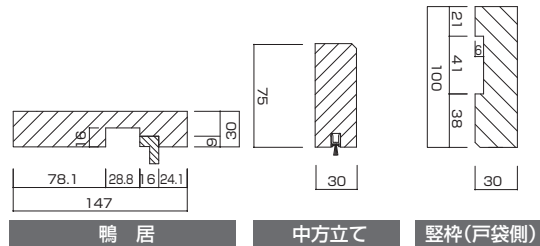


■レール詳細図



■トリガー取り付け位置

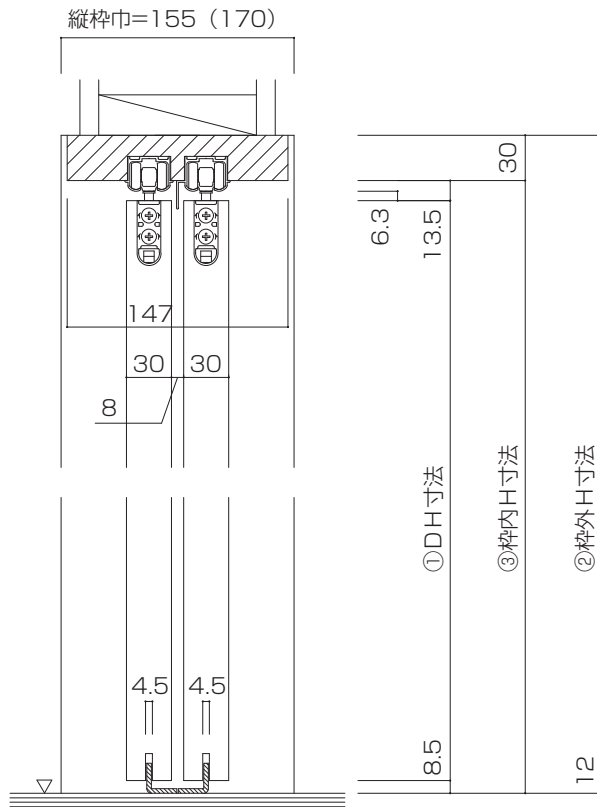
片側ソフトクローズ仕様	A・B
両側ソフトクローズ仕様	A・B・C・D



※SC…「ソフトクローズ」の略称です。

縦断面図

(単位:mm)



■納まり寸法表

	標準タイプ DH1,983	ハイドア DH2,183
①DH寸法	1,983	2,183
②枠外H寸法	2,035	2,235
③枠内H寸法	2,005	2,205

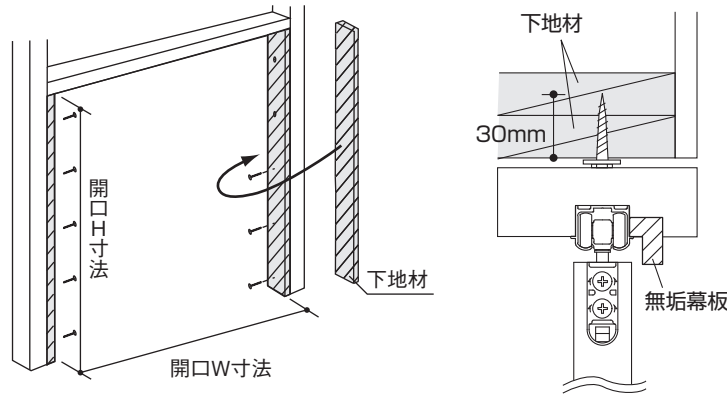
振れ止め金具取り付け位置

施工手順

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

1 取り付け開口部の確認

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った開口を設けてください。



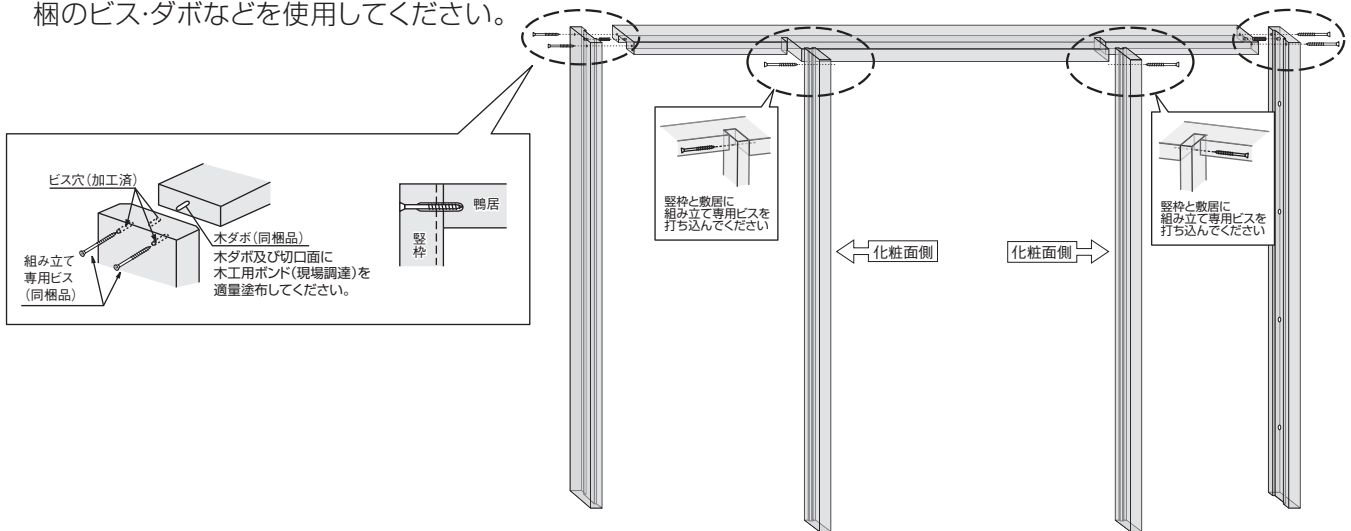
⚠ 注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て

■ 枠材を専用ビスを使用して組み立ててください。

部材の上下、左右を確認のうえ、組み立てをおこなってください。鴨居、縦枠などの固定は必ず同梱のビス・ダボなどを使用してください。



3 枠材の仮固定と縦枠のビス固定

4方に組んだ枠材(床直付けレールの場合3方)を開口部にセットしてください。

本製品の枠材には躯体接合金具が装備されているので仮固定に別途パッキン材などを用意する必要はありません。

① 枠材の仮固定

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。

ポイント 金具で突っ張らせて枠を仮固定する

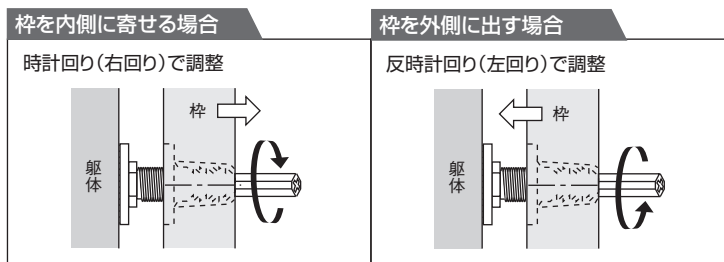
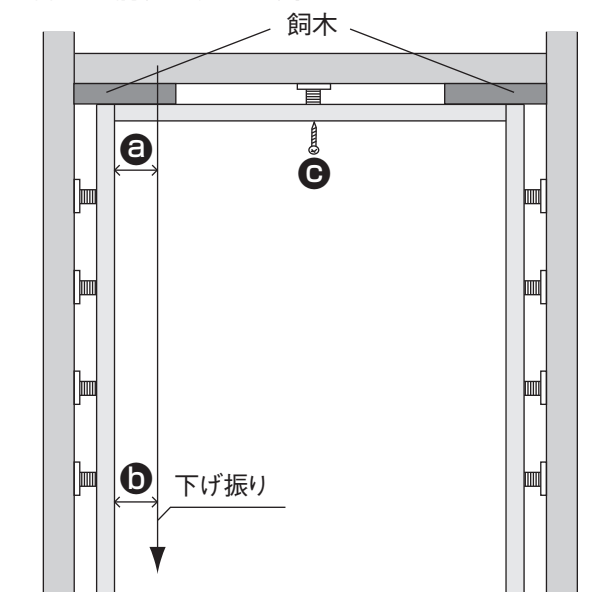
金具は枠に装着済み
同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャ

4 建て付け調整と鴨居の本固定

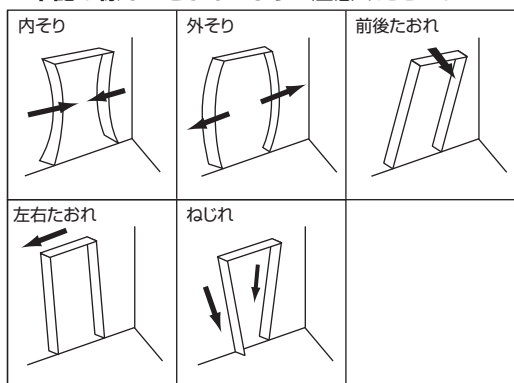
■ 縦枠を固定後、水準器などを使用し、縦枠、鴨居、敷居などの水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。

① 水準器などを使用し、**a**=**b**となるよう調整してください。

併せて前後の建りも調整してください。

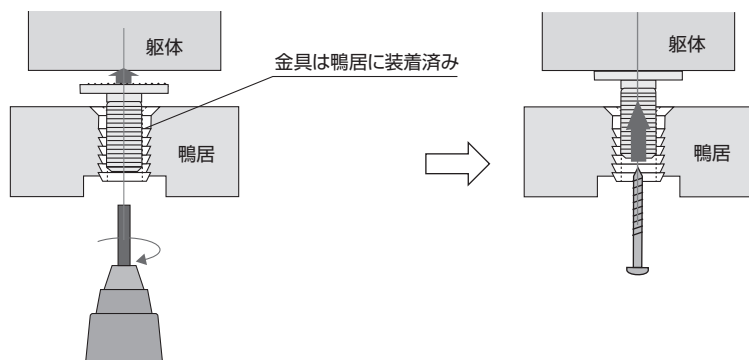


※ 下記の様なことがないようにご注意ください。



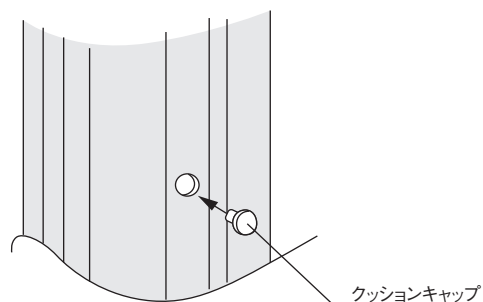
② **c**は建りを調整後、最後に固定してください。

縦枠と同様の手順で鴨居を固定します。



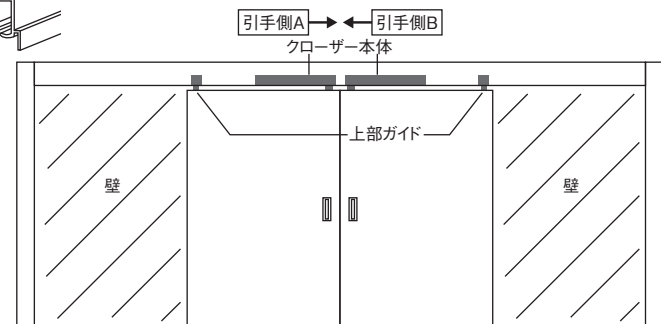
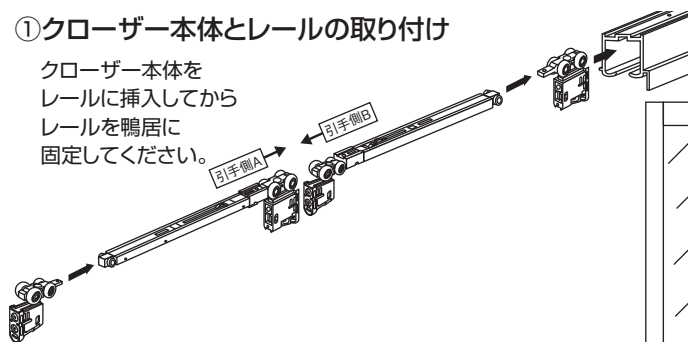
③ 縦枠を調整後、ビス穴に

クッションキャップを取り付けます。



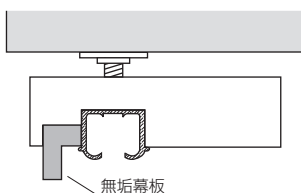
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体を
レールに挿入してから
レールを鴨居に
固定してください。

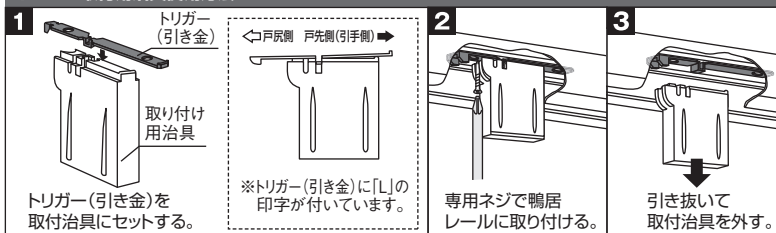


②幕板と鴨居レールの取り付け

鴨居レール(アルミレール)に幕板は
取り付けません。別途無垢幕板を木工
用ボンド(現場調達)とフィニッシュネー
ルを併用で鴨居に取り付けてください。
※無垢幕板の長さ寸法は鴨居寸法に合わせて
現場カットになります。

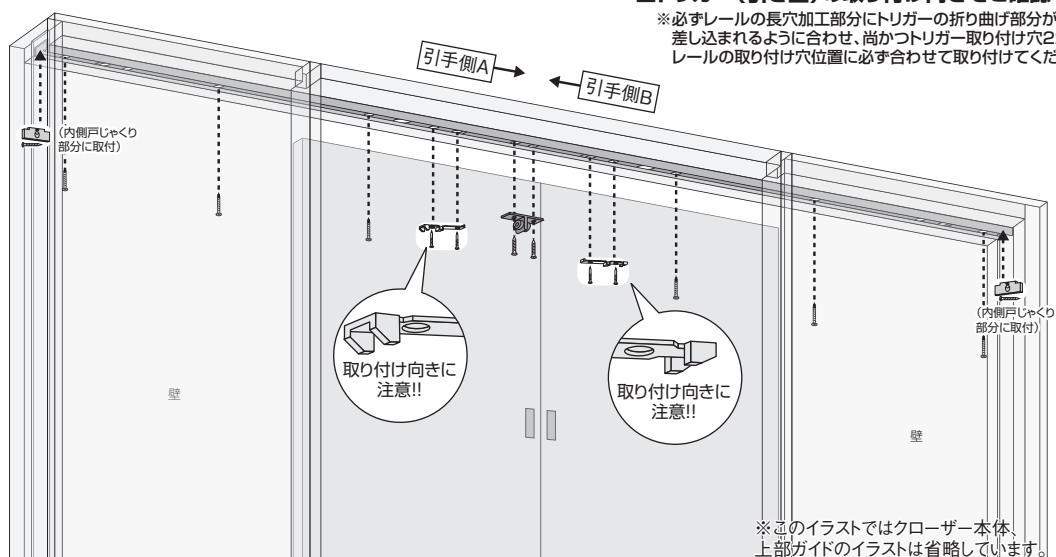


トリガー取付用治具使用方法



■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が
差し込まれるように合わせ、尚かつトリガー取り付け穴2か所を
レールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



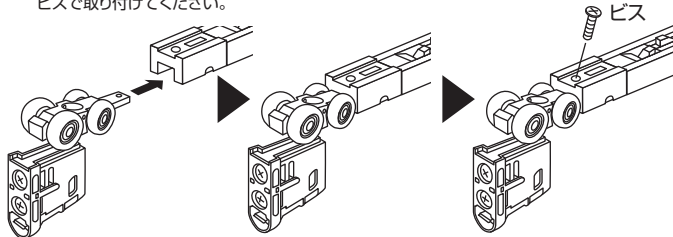
※このイラストではクローザー本体、
上部ガイドのイラストは省略しています

オプション 両側ソフトクローズの場合

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体のスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。

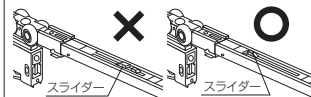


■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。

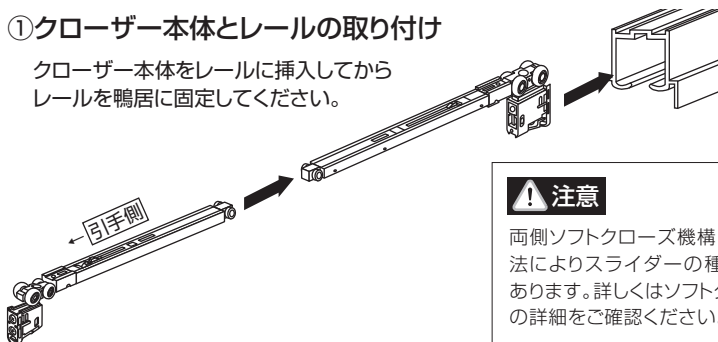


スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

片引き戸

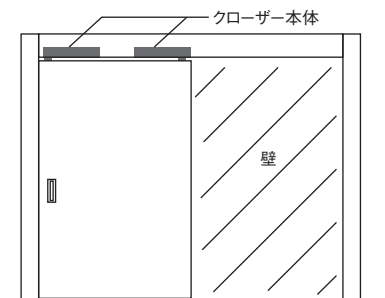
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

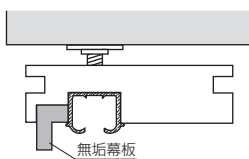


⚠ 注意

両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりスライダーの種類が異なる場合があります。詳しくはソフトクローズ金具に同梱の詳細をご確認ください。



②鴨居レールの取り付け



トリガー取付用治具使用方法

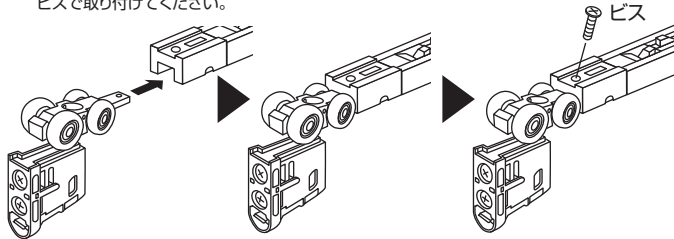


オプション 両側ソフトクローズの場合

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体のスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。

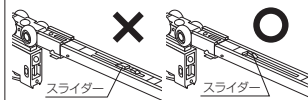


■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。

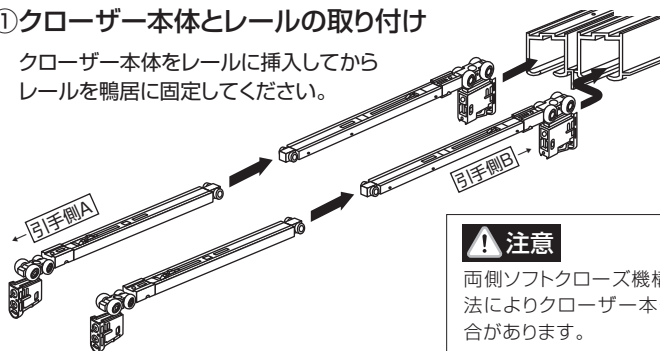


スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

引き違い戸

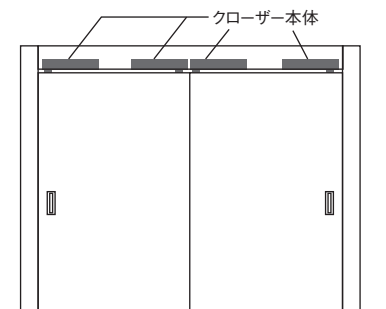
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

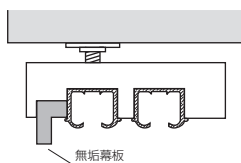


⚠ 注意

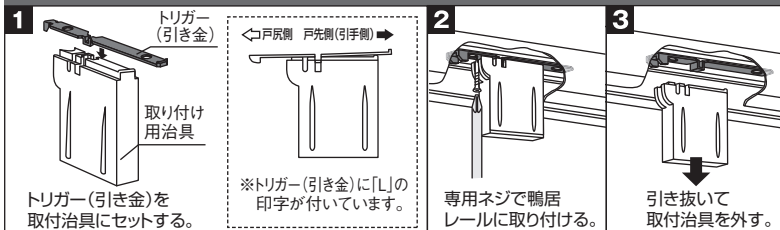
両側ソフトクローズ機構ありの場合、商品寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。



②鴨居レールの取り付け



トリガー取付用治具使用方法

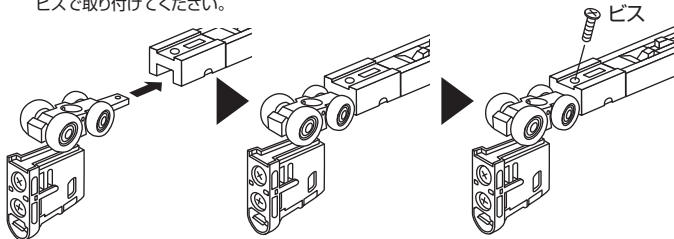


オプション 両側ソフトクローズの場合

〈ソフトクローズ仕様の場合のみ〉

■クローザー本体と上部ガイドの取り付け

上部吊り車をクローザー本体のスライダー先端の溝にはめ込み専用のビスで取り付けてください。

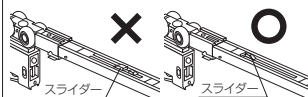


■吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。

⚠ 注意

挿入前にスライダーの位置を確認してください。

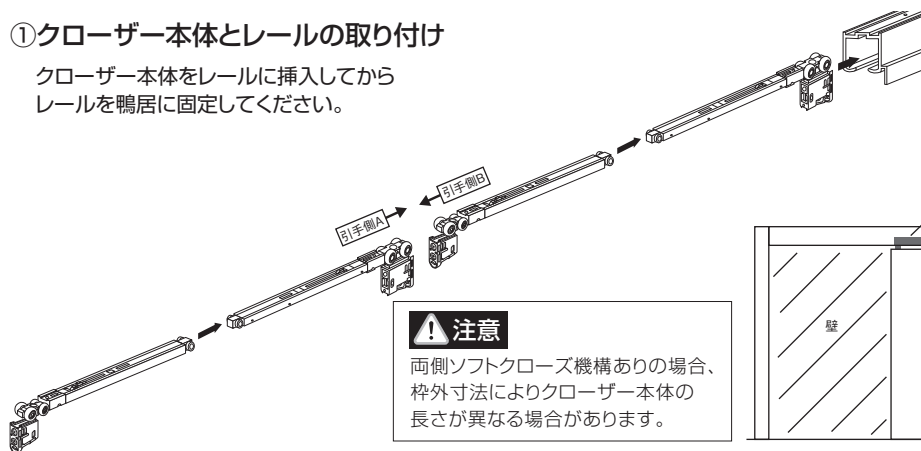


スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

引き分け戸

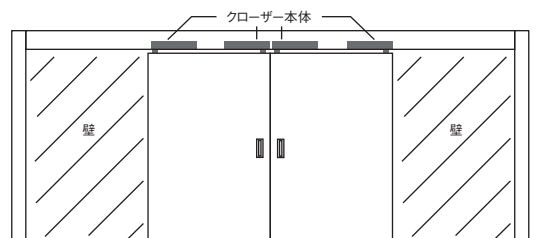
①クローザー本体とレールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。

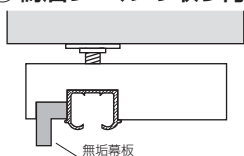


⚠ 注意

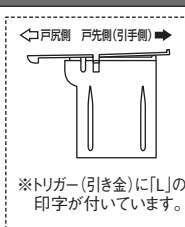
両側ソフトクローズ機構ありの場合、枠外寸法によりクローザー本体の長さが異なる場合があります。



②鴨居レールの取り付け



トリガー取付用治具使用方法



memo

memo

